

CARROSSER CUP

2006年 JMRC 埼玉群馬ラリーシリーズ案内

●シリーズ概要

初中級者向けイベント

シリーズを通じて、グラベル、ターマックの2種類の路面を用意しました。今では少なくなったグラベルイベントでは、豪快なドリフトを楽しむ事が出来ます。又ターマックイベントでは高価なセミレーシングタイヤの使用を禁止、ローコストで近年主流のターマックを走る事が出来ます。

将来上級イベントにステップアップしたい人、ラリーを手軽に楽しみたい人、これから本格的なラリーへの第一歩を踏み出す人など、多くの方々に楽しんで頂けるイベントとなっております。又、フレッシュマンに対してはラリー参戦を応援する制度が用意されております。

●シリーズカレンダー

	開催日時	大会名称	主催クラブ	格式	場所	SS/路面
第1戦	5月14日	くれさかラリー2006	ラリーチームくれさか	D	群馬100km	有り グラベル
第2戦	6月11日	RTSサバイバル'06	スクール/ネコステ	D	群馬100km	有り ターマック
第3戦	7月2日	あさま隠山岳ラリー2006	オートスポーツクラブあさま隠	D	群馬100km	有り グラベル
第4戦	7月30日	CAMツアー2006	カストロール・オートモービル・メイト	D	群馬100km	有り グラベル&ターマック
第5戦	9月17日	第52回チームif山岳ラリー	オートスポーツクラブチームイフ	D	群馬150km	有り グラベル
第6戦	10月15日	GLMC ラリーミーティング2006	グリーンラインモータリストクラブ	D	群馬150km	有り グラベル
第7戦	11月12日	TAGラリー 2006	チームアルパイン群馬	D	群馬100km	有り ターマック

注:すべてのスペシャルステージは公道以外の施設を使用して行われます。

●連絡先一覧

	クラブ名	担当者	TEL	FAX	携帯	メール/備考
第1戦	くれさか	塩原 英俊	0279-75-6778	—	090-7818-9575	daidou254@yahoo.co.jp
第2戦	スクール/ネコステ	安東 貞敏	—	049-297-9425	090-3477-6478	rt.squallando@nifty.ne.jp
第3戦	あさま隠	吉田 寛	0279-23-8702	0279-23-8702	090-3347-2766	jp1nns@mail.wind.ne.jp
第4戦	CAM	渡辺 満	027-346-7177	027-347-2855	090-9315-1963	w-takano@arion.ocn.ne.jp
第5戦	イフ	篠原 悦男	0276-74-2356	0276-72-7243	090-8941-0981	fwhw5937@mb.infoweb.ne.jp
第6戦	GLMC	北山 慎吾	042-971-4405	042-971-4405	090-1438-1733	s-kita@zj8.so-net.ne.jp
第7戦	TAG	坂木 裕之	—	—	090-3409-4703	hsaka@r-ts.co.jp

注:連絡については常識ある時間帯にお願いします。

●競技会規則

本競技会は日本自動車連盟(JAF)公認の基に FIA国際モータースポーツ競技規則ならびにそれに準拠した 2006年JAF国内競技規則および2006年JMRCラリーシリーズ関東地域統一規則書および各競技会特別規則にしたがって開催される。尚、詳細についてはそれぞれの規則を閲覧のこと。

●参加資格

- 1台の車両に乗車する定員はドライバー、ナビゲーター(コドライバー)の2名(以下クルー)とし、2006年のJAF国内競技運転者許可証B級以上の所有者でなければならない。
- クルーは本競技会に参加申込を行う時点において、参加車両を運転するのに有効な運転免許証を取得後1年以上経過していなければならない。
- 2における参加資格を満足しない場合でも、オーガナイザーの判断により参加を認める場合がある。
- 20歳未満の者が参加する場合には、親権者の承諾を必要とする。

●参加料

1台につき 25000円~35000円を予定(保険料別)各競技会特別規則書に明記される。

●参加車両

- 2006年JAF国内競技車両規則第2編登録番号標付競技車両共通規定またはラリー車両規定に合致し、下記の搭載備品を備えたRN・RJ・RB車両とする。OK SOSボード2枚、非常用停止表示板2枚(三角停止板)、非常用信号灯(発煙筒)、赤色灯、牽引ロープ、救急薬品、ヘルメット(JIS乗用車用安全帽規格適合品又はそれと同等以上の物)、及び国内競技車両規則第2編第2章第4条4. 1)に定められた消火器。尚、4. 2)に定める自動消火装置の取付は安全上、強く推奨するが装着を義務づける物ではない。
- 2006年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第3章、第3条エンジン排気系の規定に参加車両特別規則として以下の条文を追記する。マフラー及び排気管は変更、交換の有無に拘らず①～③の規定を満たすこと。なお、マフラーは変更可とするが、排気音量は排気音測定器を使用しRR・MR車99db、その他の車両は95db以下とする。測定方法においては、測定誤差を無くするために原動機の最大出力の75%の回転に保持した一定音を測定値とする。①排気管は左向きまたは右向きに開口していないこと。②触媒コンバーター、排気ガス再循環装置、O2センサー、二次空気導入装置等が当初の通り取り付けられていること。③遮熱板等の熱害対策装置と同一の構造を有し、かつ同一の位置に備えられ、損傷または脱落がないこと。
吸気音量の防止の目的の為吸気系における空気を取り入れる為のダクトの追加は禁止する。エアクリナーエレメントの交換は当初の方式を保っていれば自由、なおエアクリナーBOXは当初のままでも無ければならない。但し、過給器付車両については、エアクリナーBOXより過給器までの配管をリストラクター取付の為の最小限の加工及びそれによる部品の交換は問わない。
- クルーの保護を目的に参加車両は6点式以上のロールバーを装着することを義務とする。更に、乗員保護を目的とする追加バーの装着を強く推奨する。ロールバー及び追加バーの取り付け要項は2006年JAF国内競技車両規則第1編、第2編の安全規定におけるロールバーまたは、ロールゲージの項を参照し取り付けのこと。
4. タイヤ
2006年JAF国内競技車両規則第2編 第3章 第6条 2項のタイヤの規則に準拠すること。
使用タイヤは、グラベル用ラリータイヤに限る。タイヤはいかなる場合に於いてもスリップサインが出ていないこと。

●クラス区分

Aクラス: 排気量1400cc を含み1400cc までの車両。

Bクラス: 排気量1400cc を超え2500cc を含み2500cc までの車両。

Cクラス: 排気量2500cc を超える車両。

特別クラス: オーガナイザー特別規則書により上記以外のクラスを設定できるがその部門への参加の場合シリーズ表彰対象外とし、シリーズポイントは与えられない。

* 過給装置付エンジンの車両は、その公称気筒容積にガソリンエンジンは係数1.7 ディーゼルエンジンは係数1.5 を乗じ、それによって得られた値に相当する車両として扱われる。
* ローターエンジンについてはレシプロエンジンと同等排気量として扱われる。

●賞典

各クラス1～3位、JAFメダル、トロフィーまたは楯、副賞。その他賞典及び賞典の内容は各競技会特別規則書にて示す。

●シリーズポイント及び表彰

1. シリーズポイント

シリーズポイントは各クラス共ドライバー、ナビゲーターに対し、表のとおりポイントを与える。(参加台数に関わらず同様のポイントとする。)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完走
ポイント	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1	0

2. 有効戦数及び最低参戦数

全戦のポイントを有効とし、同一クラスにおいて最低3回以上参戦した場合にシリーズ表彰対象とする。

3. クラス成立

各クラス1台から成立するものとする。

4. シリーズ表彰

シリーズ表彰は各クラスにおいてドライバー、ナビゲーター両部門を原則6位まで表彰する。

複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、参加回数の多い者、上位ポイント早期獲得者の順で決定する。

その他疑義が発生した場合はシリーズ運営委員会が決定をする。

●シリーズ表彰式

本年度のシリーズ表彰式は対象者に別途、郵送等により告知する。

●練習走行の禁止

公道での練習走行を禁止する。発覚した場合、埼玉群馬ラリーシリーズを含むJMRC関東地域のラリーシリーズすべてにおいて参加を拒否することがある。

●大会事務局／運営委員会

大会事務局／運営委員会 代表者 藤田 幸弘 090-4071-5261 if-fujita@sky.sannet.ne.jp